

# 人権が配慮された避難所生活を送るために

災害に伴う  
人権問題

ねらい

災害発生後、様々な人たちが生活をする避難所でも人権が尊重されるためには、どのような配慮や心掛けをすることが大切かを考えます。

活動の進め方

## 1 過去の災害や避難所へのイメージを確認します。

(1) 順番に自己紹介を行い、「これまでに経験したり見聞きしたりして記憶に残っている災害」について話します。

・東日本大震災での被害や停電      ・大規模な山火事      ・台風での家屋浸水 など

(2) どのようなときに避難所は開設されて、どのような施設が避難所になるか確認します。

・多くの人が被災したとき      ・公共施設（公民館、体育館、学校）など

## 2 避難所の不自由さやそのときの心理状態について考えます。

(1) 日常の生活に比べ、避難所に「ないもの」や「足りないもの」を想像し、グループで意見を出し合います。

・プライバシーがない      ・食べ物や飲み物がない      ・水道、ガス、電気がない

・寝具は毛布しかない      ・自由なスペースがない      ・することがない など

(2) (1) のような生活が続くと、避難している人たちはどのような心理状態になったり、どのような行動をとったりすると想像できるか、グループで意見を出し合います。

・イライラしてくる      ・自己中心的になる      ・威圧的になる      ・無口になる

・ものや人に当たる      ・大きな声になる      ・人と関わらなくなる など

## 3 避難所生活における人権への配慮や心掛けについて考えます。

(1) 「避難所における人権侵害」を読み、避難所で起きた人権侵害の実例から、話し合うテーマを一つ選びます。

(2) 選んだ人権侵害が起きた理由を考えて1色目の付箋に書きます。発表しながら模造紙に貼ります。似た意見の付箋は近くに貼るなどして、まとめておきます。

(3) (2) の付箋のまとめりごとに、どのような配慮や心掛けをすることが大切かを考え、2色目の付箋に記入します。

(4) 2色目の付箋に書いた意見を発表しながら、(2) の近くに貼ります。似た意見があれば近くに貼ります。

(5) グループで出た意見を発表し、全体で共有します。

## 4 発表をもとに活動をふりかえります。

(1) 避難所生活を送る人たちの人権を尊重するために、どのような心掛けが大切かを考え、グループで意見を出し合います。

(2) グループで出た意見を発表して全体で共有し、活動全体をふりかえります。

時 間	50～60 分	準備するもの	資料1・3、模造紙（グループ数） ワークシート、資料2（学習者数） 大きめの付箋2色（グループごとに用意）
-----	---------	--------	---

### ファシリテーターの言葉かけ例（留意点）

#### <活動1>アイスブレーキング 時間：5分

- (1) グループ内で自己紹介をします。これまでに自分が経験したり見聞きしたりして記憶に残っている災害を交えて、一人1分程度で話してください。（辛い記憶がある人には、無理に発表しなくてもよいよう声をかける）（学習者の意見を聞き、まとめて紹介し共有する。ホワイトボードを使用してもよい。）
- (2) 本当に様々な災害がありますね。では、避難所はどのような災害のときに開設されるのでしょうか。どのような施設が避難所になるのでしょうか。（学習者の意見を聞き、まとめて紹介し共有する。ホワイトボードを使用してもよい。）

#### <活動2>メインアクティビティ 時間：15分

- (1)（資料1をグループに1枚ずつ、ワークシートは全員に配布する）写真は避難所の開設訓練の様子です。日常の生活に比べ、避難所に「ないもの」や「足りないもの」は何だと思えますか。ワークシートに書いてください。（時間を見て）グループで意見を出し合います。発表順を決めて、一人一つずつ発表してください。
- (2)（各グループで出ている意見を拾いながら）避難所にはないものがたくさんあり、そのため不自由な生活を送らなければなりませんよね。そんな不自由な生活が続くと、避難している人たちはどのような心理状態になったり、どのような行動をとるようになったりすると想像できますか、ワークシートに書いてください。（時間を見て）グループで意見を出し合います。発表順を決めて、一人一つずつ発表してください。（グループ内での発表が終わったら）どのような意見が出ましたか。（数グループを回り、出た意見を発表してもらおう）皆さんの意見からも、避難所という日常とは違う環境が人を変えてしまうということが想像できると思います。

#### <活動3>メインアクティビティ 時間：20分

- (1)（資料2を配布して読み上げる）これらは避難所で実際にあった人権侵害です。どの事例について話し合うかグループで決めて、模造紙の上に記号を書いてください。
- (2) 選んだ記号の人権侵害は、なぜ起きたと思えますか。理由を考えて（ ）色の付箋に書いてください。（付箋1枚に一つの意見、短い文章で書く。）（時間を見て）自分の考えを発表しながら模造紙に貼ってください。似た意見は近くに貼るようにしてください。
- (3)（活動2で話し合った「避難所は『ないもの』や『足りないもの』がたくさんある不自由な環境であることを再確認する）1色目の付箋ごとに、どのような配慮や心掛けをすることが大切かを考えます。（ ）色の付箋に記入してください。
- (4) 自分の意見を発表しながら模造紙に貼ってください。一人ずつ行ってください。似たような意見の付箋は近くにまとめて貼るようにしてください。
- (5) どのような意見が出ましたか。グループごとに発表してください。

#### <活動4>ふりかえり 時間：10分

- (1)「避難所」自体が、人権が制限される特殊な場所です。しかし、避難所であっても人権は尊重されなければなりません。避難所生活を送る人たちの人権を尊重するために、私たちはどのようなことを心掛けることが大切だと思えますか。ワークシートに記入してください。（時間を見て）グループで意見交換します。
- (2) グループでどのような意見が出ましたか。（数グループ指名する）（資料3をグループに1枚ずつ配布する）現在は資料3のような避難所を設営しているようです。少しずつですが、人権が配慮されてきている様子がかげえまます。避難した誰もが不自由で不安な避難所だからこそ、人権に配慮された生活を送れるようにしたいですね。

1 避難所のイメージは？

2 避難所の写真を見て考えましょう

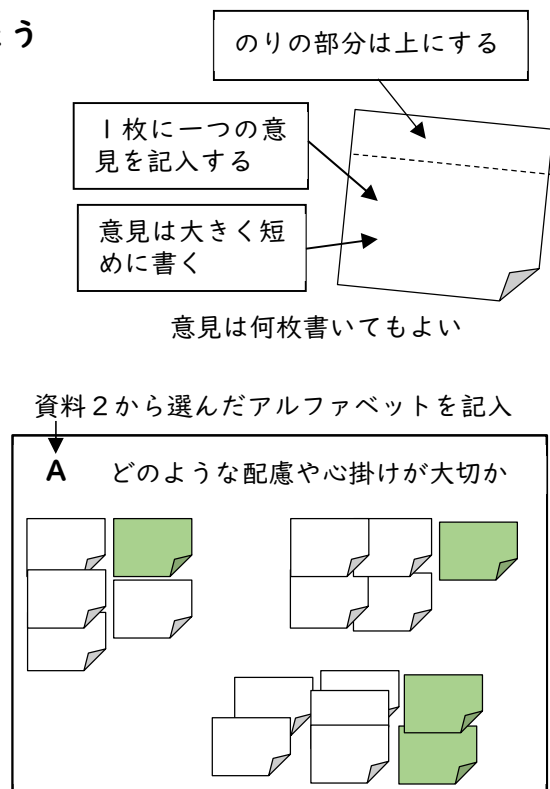
(1) 資料1の写真から、日常の生活に比べ、避難所に「ないもの」や「足りないもの」は何だと思いますか。あなたの考えを書きましょう。

(2) 避難所で不自由な生活が続くと、避難している人たちはどのような心理状態になったり、どのような行動をとったりすると思いますか。あなたの考えを書きましょう。

3 避難所で実際にあった人権侵害から考えましょう

<活動手順>

- (1) 資料2の実例から、どの人権侵害について話し合うかグループで選び、模造紙の上にその記号を書きます。
- (2) 選んだ実例の人権侵害はなぜ起きたのか、自分の考えを1色目の付箋に記入します。発表しながら模造紙に貼ります。(似たような意見の付箋は近くにまとめて貼ります。)
- (3) (2)の付箋ごとに、どのような配慮や心掛けをすることが大切かを考え、自分の考えを2色目の付箋に記入します。
- (4) 2色目の付箋の意見を発表しながら、(2)の付箋の近くに貼ります。
- (5) グループで出た意見を発表します。

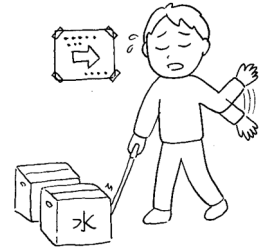


4 ふりかえり

避難所生活においても人権が尊重されるために、私たちはどのようなことを心掛けることが大切だと思いますか。



宿泊型避難所開設訓練の様子 平成 26(2014)年



A 若いお母さんが、「赤ちゃんの夜泣きがうるさくて眠れないと、他の人に怒鳴られた」と泣きながら相談してきた。



B 仕切りが無いので仕方なく、目立たないよう授乳させているが、胸元をじっと見ている男性がいてつらいと訴えるお母さんがいる。

C 耳の聞こえない人から、食事の配布の知らせなどの情報が伝わらないので困っている、と言われた。

D ペットを一つの場所につなぐことになったが、盲導犬を連れている人が、犬を引き離されては困る、と訴えているという。



E 夜、外にようやく設置された仮設トイレに行く途中で、女性が男性に抱きつかれて体を触られたという情報が入ってきた。

F 体力のある人が先に物資をたくさん持って行ってしまい、高齢者や体が不自由な人がもらい損ねていることがわかった。



G 民生委員から、「DV被害で夫から逃げてきている母子がいて、避難所の名簿に自分の名前を公表しないでほしいと言われたのだが、どうすべきだと思うか」と内々に相談された。

H 自宅で避難生活を送る若い夫婦が、赤ちゃん用の紙おむつを分けて欲しいと避難所に頼みに来たが、物資担当者が、避難所で生活していないので渡せないと言って、トラブルになっている。



避難所の様子 令和 2 (2020)年